

## 1. 新たな保育所整備の背景

町立の東山保育所（築45年）と中央保育所（築39年）の老朽化が著しい一方、多様化する保育ニーズに対応するため、全町的な子育て支援機能を有する施設の整備が必要となっています。

このため、東山保育所と中央保育所を廃止し、「新たな保育所」に再編することになりました。

## 2. 保育所整備の基本的考え方

### （1）位置付けと役割

新たな保育所は、3歳未満児の入所の増加傾向や、幼稚園の新制度への移行も踏まえ、保育の優先度の高い児童等の受け皿に位置付けて、町内幼稚園との役割分担のもと、多様化する保育ニーズに対応した公立保育所とします。

### （2）妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援

岩内町母子健康包括支援センターや町内幼稚園、小学校と連携し、町の子育て支援を担う基幹的機能を備えた施設とします。

## 3. 地域子育て支援センターの併設

### （1）地域子育て支援センターの機能

東山保育所内に設置している地域子育て支援センターでは、育児相談や子育てサークル、あそびの広場を実施しています。

新たな保育所においても、地域子育て支援センターを併設することとし、保護者ニーズを踏まえ、保育サービスの提供を行います。

### （2）地域子育て支援センターの役割

子育てを行っていく上で孤立化することがないように、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や情報交流、育児相談などを行える拠点施設とします。

## 4. 計画地の概要

（1）所在地 岩内町字東山82番地1、82番地2、83番地1、83番地2

（2）用途地域 第二種中高層住居専用地域

（3）敷地面積 8,262㎡（現況地積）

（4）周辺状況

- ・北側：東山公園
- ・南側：東小学校
- ・西側：役場、町民体育館、協会病院

（5）隣接道路

- ・北側道路：東山南線（幅員 9.0m）
- ・南側道路：岩ヶ嶺通り（幅員 5.5m）
- ・東側道路：岩内川第二東通り（幅員 11.0m）
- ・西側道路：岩内川墓地通り（幅員 18.0m）

（6）形状

- ・敷地は間口約91m、奥行約91m
- ・地形は北西側が低く、東側が一番高くなっている

5. 計画地位置



6. 敷地現況撮影方向



7. 敷地現況写真



①



②



③



④

8. 整備テーマ・整備コンセプト

【新たな保育所の整備テーマ】

子どもの視点	保護者・町民の視点
園児が多くの時間を過ごす保育室は、基準面積以上の余裕を持った広さとし、その他のスペースは、園児が多用途に使用できるユニバーサルでオープンな平面構成とします。	多様化する保護者ニーズに対応するため、間仕切りの多い構造は避けつつ、相談室等のプライバシーは確保します。施設の内外はバリアフリーに配慮し、広々と利用しやすくします。
行政の視点	保育士の視点
耐震基準やセキュリティー対策など、建築物の性能を確保しつつ、保育サービスの向上につながる設計とします。また、地域特性を踏まえ、吹き溜まりや雪庇等への対策を行います。	子どもへの目配りがしやすく、段差や死角の少ないオープンプランとします。室内は、抗菌作用に優れた自然素材の使用や、自然光、通風の確保など、省エネルギー化の仕組みを取り入れます。

【新たな保育所の整備コンセプト】

外観イメージ	定員
子どもや町民が親しみを持てるように、要所に木材を使用して和やかな外観デザインとします。	保育所の定員は100人程度とし、各保育室の広さには余裕を持たせます。
施設の外回り	駐車場
建物のグラウンド側に屋根付き回廊と大型テラスを設置します。正面玄関前には広いアプローチを設け、保護者待機用の一時駐車スペースを設けます。植栽は動物や蜂の寄らない樹種とします。	駐車場出入口は北から西に抜ける構造とし、職員用約20台、保護者用約30台の駐車を可能とします。また、一角には除雪した雪を堆積するスペースを確保します。
保育所グラウンド	プレイルーム
グラウンドは水はけを良くし、一角に遊具広場や菜園、築山を設けます。(一般開放はしません)	多様な保育ニーズに応えるため、多目的なプレイルームを設置するほか、障がい児支援室にも目的に応じたプレイルームを併設します。
子ども用トイレ	必要な部屋
トイレは全て洋式とし、効率的で無駄のない配置とします。また、バリアフリーの多目的トイレを設置します。	保育室6室、障がい児支援室、プレイルーム(多目的)、遊戯室、相談室兼授乳室、医務室、調理室、管理人室、事務室、休憩室(ロッカー含む)、物品庫、遊戯室庫、外部物品庫等。
子育て支援センターの併設	子育て支援センターのイメージ
保育所と地域子育て支援センターを併設し、相互のプライバシーに配慮しながら、コミュニケーションの場としての複合施設の機能を担います。	家庭のリビングのような部屋づくりとし、子育て相談をしやすい雰囲気とします。
子育て支援センターの園庭	その他
園庭には小さなお子さんが利用しやすい小児用遊具や築山を設け、児童公園のような広いスペースを確保し、一般開放します。	避難所としての位置づけを考慮します。各保育室からグラウンドに出られるようにし、外用出入口側に手洗い場を設けます。遊戯室にはステージを設置します。

